

時代を切り開くクリエイター・loundrawの全軌跡を収めた最新決定版画集
映画『君は月夜に光り輝く』のために描き下ろした特別イラストも収録

夜明けより前の君へ featuring 君は月夜に光り輝く

2019年2月28日(木) 発売決定!

本日より事前予約開始!!

株式会社KADOKAWA(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:松原真樹)は、2019年3月15日(金)公開の映画『君は月夜に光り輝く』の原作小説でイラストを担当した人気クリエイター・loundraw(ラウンドロー)氏の画集『夜明けより前の君へ featuring 君は月夜に光り輝く』を、2019年2月28日(木)に発売いたします。また、本書の事前予約受付を本日12月18日(火)より、オンライン書店などで開始いたしましたので、お知らせいたします。

『夜明けより前の君へ featuring 君は月夜に光り輝く』は、映画『君は月夜に光り輝く』の劇場公開に合わせて企画された画集で、loundraw氏の個展「夜明けより前の君へ」で発売され即完売となった図録集に新作イラストなども収録した決定版として刊行いたします。また、画集の刊行決定に伴い、映画のためにloundraw氏が特別に描き下ろしたイラストも収録いたします。

描き下ろしイラストは、クランクインに先駆けて、映画サイドよりloundraw氏に映画オリジナルのイラストの制作を依頼。loundraw氏が脚本を読み、感じたことを同氏の解釈で表現したイメージイラストが完成しました。まみずと卓也が手を取り合う多幸感に満ちたイラストは台本の表紙に起用されることに。作品のイメージを共有したことで、永野芽郁・北村匠海をはじめとした映画キャスト・スタッフ全員が一体感を持って撮影に打ち込むことができたというエピソードも。さらに、このイラストに感銘を受けた月川監督がインスピレーションを受けて撮影されたシーンも映画に登場します。

画集『夜明けより前の君へ featuring 君は月夜に光り輝く』には、イラストのほか、loundraw氏がイラストを手掛けた小説『君は月夜に光り輝く』(メディアワークス文庫刊)の原作者・佐野徹夜氏とのクロストークや、映画『君は月夜に光り輝く』の劇場公開を記念した月川監督とloundraw氏との対談なども収録予定です。

イラストレーションのほか、小説、漫画、アニメなど多岐にわたるジャンルで活躍するloundraw氏の創作の軌跡を、画集『夜明けより前の君へ featuring 君は月夜に光り輝く』でぜひご覧ください。



映画『君は月夜に光り輝く』オリジナルイラスト(左)と、イラストに喚起されて撮影された映画シーン(右) ©2019「君は月夜に光り輝く」製作委員会

『夜明けより前の君へ featuring 君は月夜に光り輝く』発売にあたってのコメント

◆イラストレーター：loundraw

この度、画集を発売させていただくことになりました。

絵は僕を遠くまで連れて来てくれました。それは夢のようであると同時に、自分自身を見つめ直す時間だったと思います。個展「夜明けより前の君へ」から早1年、“君月”の劇場化に合わせてまた新たなきっかけをもたらしてくれた作品たちに感謝をしなければなりません。改めて過去を懐かしみ、未来への決意を込めました。何卒、よろしくお願い致します。

◆映画監督：月川翔

loundrawさんの原画展には初日に駆けつけるほど、彼の絵に興味を持っていました。光とフォーカスを効果的に使って対象を際立たせる絵…と言葉にしてしまうと消えてしまいそうなほど、繊細に描きだされるムード、ニュアンスに心惹かれています。これまで彼が表紙のイラストを描いた小説を2作品(『君の臍臓をたべたい』『君は月夜に光り輝く』)映画化してきましたが、その絵からインスピレーションを得たショットもあります。『君は月夜に光り輝く』では、小説の表紙とは別に映画のための描き下ろしイラストも描いていただき、台本の表紙にもなりました。これもまた想像力を掻き立てられる絵で、映画本編にもそのニュアンスが刻み込まれています。

画集『夜明けより前の君へ』概要

【書名】夜明けより前の君へ featuring 君は月夜に光り輝く

【著者】loundraw

【仕様】A4判並製 オールカラー112ページ 【定価】本体2,700円＋税

【ISBN】978-4-04-912463-7 【書店発売日】2019年2月28日(木) 【発行】株式会社KADOKAWA

【内容】・メディアワークス文庫『君は月夜に光り輝く』原作者・佐野徹夜 & loundraw クロストーク

・loundraw活動録全記録(2017年後半から最新までを一挙更新)

・月川監督×loundraw 対談

■loundrawプロフィール

メディアワークス文庫『君は月夜に光り輝く』のイラストレーションのほか、多くの話題作の装画を担当。2017年9月に自身初の個展「夜明けより前の君へ」を開催。小説、漫画も手掛けるほか、アーティスト集団・CHRONICLEでの音楽活動など様々な分野で活躍するクリエイター。

映画『君は月夜に光り輝く』

【出演】永野芽郁 北村匠海

甲斐翔真 松本穂香 今田美桜 / 優香 生田智子 長谷川京子 及川光博

【監督・脚本】月川翔(『君の臍臓をたべたい』『センセイ君主』ほか)

2019年3月15日(金) 全国東宝系劇場にて公開

©2019「君は月夜に光り輝く」製作委員会



■メディアワークス文庫『君は月夜に光り輝く』概要

- 【書名】君は月夜に光り輝く
【著者】佐野徹夜 【イラスト】loundraw
【判型】文庫判 【ページ数】324ページ
【定価】本体630円＋税 【ISBN】978-4-04-892675-1
【書店発売日】2017年2月25日
【発行】株式会社KADOKAWA
【内容】

大切な人の死から、どこかなげやりに生きてる僕。高校生になった僕のクラスには、「発光病」で入院したままの少女がいた。月の光を浴びると体が淡く光ることからそう呼ばれ、死期が近づくとその光は強くなるらしい。彼女の名前は、渡良瀬まみず。余命わずかな彼女に、死ぬまでにしたいことがあると知り……「それ、僕に手伝わせてくれないかな?」「本当に?」この約束から、止まっていた僕の時間がふたたび動きはじめた――。

- 『君は月夜に光り輝く』特設サイト:

<http://mwbunko.com/special/kimitsuki/>



↑ 『君は月夜に光り輝く』表紙

<ご参考>

■「メディアワークス文庫」とは

2009年12月創刊の文芸エンターテインメントレーベル。恋愛、ミステリー、青春など、さまざまなジャンルの小説を刊行しています。メディアワークス文庫からは、シリーズ累計680万部を突破し実写とアニメでの映画化が決定し、実写映画が好評上映中の『ビブリア古書堂の事件手帖』（著／三上 延）のほか、『神様の御用人』（著／浅葉なつ、シリーズ累計150万部）、『0能者ミナト』（著／葉山 透、同60万部）、『オーダーは探偵に』シリーズ（著／近江泉美、同45万部）、『お待ちしてます 下町和菓子 栗丸堂』（著／似鳥航一、同37万部）、『絶対城先輩の妖怪学講座』（著／峰守ひろかず、同28万部）などのヒット作品が生まれています。また、『探偵・日暮旅人』シリーズ（著／山口幸三郎、同85万部）が連続TVドラマ化、『ちょっと今から仕事やめてくる』（著／北川恵海、同70万部）が映画化されたほか、『博多豚骨ラーメンズ』（著／木崎ちあき、同35万部）がTVアニメ化されました。現在活躍中の人気作家の多くは、小説・イラスト・コミックの新人登竜門「電撃大賞」より誕生しています。メディアワークス文庫は、実写映像化、コミカライズなどさまざまなメディアミックス展開を行っており、幅広い層の方々に楽しまれております。毎月25日発売。

- 「メディアワークス文庫」公式サイト: <http://mwbunko.com/>
- 「メディアワークス文庫」公式Twitter: <https://twitter.com/mwbunko>

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社KADOKAWA

E-mail: amw-pr@ml.kadokawa.jp